

## 第2次安城市市民協働推進計画の係る実施状況（令和3年度分）等に対する委員からの質問等

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回 答
1	全体	やっと、コロナ感染が落ち着き始め、一部実施できないものもありましたが、大体の事業が実施でき、課題解決ができてよかったです。 団体の皆様、職員の皆様、ご苦労様でした。	
資料 1			
2	1 / 2 ページ 基本方針 1 ~ 5 成果指標 2 市民活動団体センターの 登録団体数 (市民協働課)	「目標値【R5年度】430団体」に対し「R3年度451団体」は高く評価できますので、この状態を維持向上していただきたいです。	
3	1 / 2 ページ 基本方針 1 ~ 5 成果指標 3 市内のNPO法人数 (市民協働課)	「目標値【R5年度】45団体」に対し「現状値【平成28年度】38団体」、「R3年度38団体」は相当な努力をしないと目標達成は困難であると思いますので、R5年度目標値に近づけるように対策し、事業を推進していただきたいです。	
4	1 / 2 ページ 基本方針 1 ~ 4 基本施策別評価結果 (市民協働課)	「合計事業数48に対して、達成とAで44（91.7%）」は高く評価できますので、全ての事業でAとなるよう事業を推進していただきたいです。	
5	1 / 2 ページ 事業別進捗状況 1 (1) 2 被災地ボランティア活動 に対する支援 (市民協働課)	コロナ禍でやむをえない面もあったかとは思いますが、AABBと連続してBBですので、3年連続でBとならないよう対策し、事業を推進していただきたいです。	
6	1 / 2 ページ 事業別進捗状況 1 (3) 2 市民協働パートナー 実践の場の提供 (市民協働課)  2 / 2 ページ 4 (1) 4 大型モニターなどを 活用した情報発信 の支援 (アソファレ課)	コロナ禍でやむをえない面もあったかとは思いますが、AAABですので、2年連続でBとならないよう対策し、事業を推進していただきたいです。	
7	2 / 2 ページ 事業別進捗状況 2 (2) 1 円卓会議の開催 (市民協働課)	コロナ禍でやむをえない面もあったかとは思いますが、ABBBと連続でBBBですので、4年連続でBとならないよう対策し、事業を推進していただきたいです。	

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回答
資料2			
8	1 ページ 1-(1)-1 イベント等を活用した 市民活動に関する PRの実施 (市民協働課)	「施策の進捗度A」は評価できます。 ただ 「事業実績」欄に「アンフォーレのイベントで協働事例集を配布しました。」とありますが、具体的のどのようなイベントで協働事例集を配布し、配布した際の反応を教えてください。	聖火リレーのセレモニー開催日に、アンフォーレにて市の啓発ブースが設置されるという話があり、配布用の協働事例集を用意しましたが、当日、ブースが設置されていなかったことが判明しました。 そのため、資料2（1ページ）の事業の実績から「アンフォーレのイベントで協働事例集を配布しました。」を削除します。申し訳ございませんでした。 なお、情報提供等は実施していますので、評価は変更なしでお願いします。
9	2 ページ 1-(1)-2 被災地ボランティア活動 に対する支援 (市民協働課)	「事業実績」欄に「外部評価を受け」とありますが、具体的にどのような「外部評価」によりどのような指摘があって、どのような対策を実施され、その結果どのような改善がなされたのかを補足説明をしていただきたいです。	安城市行政改革審議会における外部評価を受け、被災地ボランティア活動支援事業の周知及び支給要件などの見直しを検討するとともに、被災地ボランティア活動の経験を生かすために、災害ボランティアコーディネーター養成講座に参加しやすいしくみの構築、また、自主防災リーダーなど他の活動との連携についても検討するよう意見をいただきました。事業主体である安城市社会福祉協議会と周知方法や講座の実施方法等を改善に向け協議し進めていきます。
10	被災地ボランティア活動 に対する支援 (市民協働課)	被災地ボランティア活動支援事業を市民に広く認知してもらう必要がありますが、アンフォーレ大型モニターの活用は周知先として利用されているのでしょうか。	アンフォーレ大型モニターは現在活用していませんが、周知方法や周知先について改善が必要となるため、今後活用していきます。
11		被災地ボランティア活動に対する支援：令和4年度自主防災リーダー養成研修第1回にて、「災害ボランティアセンターについて」が取り上げられており、こうした地道な活動が市民（特にこれから自主防災活動に取り組む人達）に広く認知してもらえることにつながると思います。	/
12	3 ページ 1-(1)-3 ボランティア体験 プログラムの開催 (社会福祉協議会)	チラシより抜粋（学生さんも一般の人も誰でも気軽に参加できます。） 一般の人は、参加募集の情報源はどのような方法がありますか。	各公民館、福祉センター、市民活動センター、青少年の家へのチラシの設置や社会福祉協議会のホームページ・社協だよりへの掲載を行い、周知を図っています。また、令和4年度からはLINE配信を行っています。
13	5 ページ 1-(2)-2 シルバーレジェの開催 (生涯学習課)	「施策の進捗度A」は評価できます。 ただ「実績からみえてきた課題」に記載があるように、コロナ禍では「ボランティア活動等の自主活動へつなげていくことも難しい現状です。」というのは理解はできますが、R4年度以降は生涯学習課の指導力を発揮して、自主活動へつなげていただきたいです。 団塊世代はコロナ禍を契機として市民活動やボランティア活動から引退され、コロナ禍が終息しても復帰されない恐れが高いと思われます。これ以上のボランティア活動の中断は、ボランティア活動の再起不能となる恐れがありますので、R4以降、受講者がボランティア活動を自立的に取り組めるように後押しをしていただきたいです。	/

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回答
14	7 ページ 1-(3)-1 市民協働ポーター 養成講座の開催 (市民協働課)	<p>「施策の進捗度A」は評価できます。 ただ「実績からみえてきた課題」欄に「協働によるまちづくりを实践し、次期市民協働計画の策定に携わる人材が必要です。」と記載があるように、コロナ禍でやむをえないこととは思いますが「講座は受講し、横のつながりはできました。」で留まっているのではないかと、思います。 R4年度以降は、更に一步進めて、協働サポーターとして自立的な活動ができるような後押しを進めていただきたいです。</p>	
15	8 ページ 1-(3)-2 市民協働ポーターの 実践の場の提供 (市民協働課)	<p>「実績からみえてきた課題」欄に「コロナ禍ということもあり、実践機会が少ないことが課題です。」とあり、「課題解決のために行う取組(改善点)」に「次期市民協働推進計画の策定において活躍していただける場を提供してまいります。」とあります。 ぜひ、これまでに「協働サポーター養成講座を受講された全受講者の皆様」に「次期市民協働推進計画の策定」活動にご参加いただくようご案内していただきたいです。</p>	
16	9 ページ 1-(4)-1 職員の市民活動への 自主的・主体的 参加の推進 (市民協働課)	<p>「施策の進捗度A」は評価できます。 ただ「事業の実績」欄に「庁内掲示板に掲載しました。」と記載がある通りで、「実際に参加された実績がない。又は把握されていない。」ということではないかと思えます。 「課題解決のために行う取組(改善点)」欄に記載の通り、安城市民活動センターとも連携しながら、市民活動団体からも協力を得て、職員が参加したいと思う情報提供と共に、職員の参加のバリエーションを除く努力をしていただきたいです。</p>	
17		職員向け協働についての研修、係長以下の職員5名参加とあります。研修を受けていない職員が多数いますと記述がありますが、研修は任意でしょうか。	業務に支障が出ないよう、研修へは、これまでに同研修に参加していない職員を対象に、各課1～2名の参加を依頼しています。 町内会に関する研修については、2か年開催し、累計105人の職員が参加しています。
18	10 ページ 1-(4)-2 職員向け 市民協働研修の実施 (市民協働課)	市職員(係長以下)向け市民協働研修会を、2年に亘って開催され、講師を務めさせていただきました。研修会の後段で「市職員にお願いしたいこと」にも触れ、「相手方との気持ちの通じる対応が欠かせない」、そのためには「担当者と上司との報連相ができていないこと」としてあります。その上で必要な場合には担当者任せとせず、上司の顔が相手方に見えるような配慮もお願いしたいです。 ⇒こうすることが、市民満足度の向上につながります。	
19		<p>「施策の進捗度A」は高く評価できます。「事業の実績」欄に記載のある通り、特に、「町内会、市、社協等との協働」や「愛知県の協働ルールブックのついでの説明」は大変良い試みであったと思います。 更に「愛知県の協働ルールブック」を進化させて「(仮称)安城市の協働ルールブック」の制定に取り組んでいただきたいです。</p>	

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回答
20	14ページ 2-(1)-4 市民活動センター・ 生涯学習ボランティアセンター における相談・ コーディネート機能の充実 (市民協働課)	<p>「施策の進捗度A」は高く評価できます。 特に「事業の実績」欄に記載がある通り「市民活動補助金申請団体へは、…伴走支援を行いました。」は大変良い取り組みであると思えます。 今後は、この取り組みを積極的にPRすると共に拡充していただき、資料1 ●基本方針1～5成果指標 成果指標3「目標値【R5年度】45団体」の目標達成につなげていただきたいです。</p>	
21	15ページ 2-(1)-4 市民活動センター・ 生涯学習ボランティアセンター における相談・ コーディネート機能の充実 (生涯学習課)	<p>「施策の進捗度A」は高く評価できます。 「事業の実績」に記載されている「地域をつくる、かえる、いかすコーディネーターを学ぶ講座」は良い取り組みでは、とは思いますが、この講座の詳細と、特に、この講座から得られた成果を教えてくださいたいです。 また、「課題解決のために行う取組(改善点)」欄に「人材養成のための講座を実施します。」とありますが、「生涯学習ボランティアセンターとして、どのような人材を養成されようとしているのか」を教えてくださいたいです。 当然「市民活動センター」と「生涯学習ボランティアセンター」の役割は異なっていると思えますので、その「役割に応じた人材の養成」が必要と思われるので、この点を明確にして、講座を実施していただきたいです。</p>	<p>地域をつくる、かえる、いかすコーディネーターを学ぶ講座は、コーディネーターとしての役割や業務内容について事例として地域学校協働活動の取組の観点から説明いただきました。この講座は一般公募のほか、生涯学習ボランティアセンター利用団体にも受講いただきましたが、様々な形で生涯学習に携わっている方にコーディネーター本来の役割、活動を理解いただけたことが成果であると考えています。生涯学習ボランティアセンターを中心に団体などと協働しつつ、生涯学習に取り組みたいと考える市民やグループに対する学習相談、活動相談などに対応できる人材の養成を図っています。</p>
22	16ページ 2-(1)-5 図書情報館の運営 (アンフォーレ課)	<p>「施策の進捗度A」は評価できます。 「P 課題解決のために行う取組」欄に「ボランティア活動をさらに活発にしていくため、ボランティア団体との連携をさらに進めていきます。」との記載があると共に「施策の進捗度A」は高く評価できます。 ただ「アンフォーレ課に登録しているボランティア団体」は「安城図書館友の会」を除くと「読みきかせの会」が大半ではないかと思えます。 図書情報館の役割や機能や求められるニーズは「読みきかせ」以外にも幅広くあると思えます。 例えば、大府市のアローブのような「おとなの読書会的なサークル」や「同人誌制作のサークル」等の幅広いボランティア組織が加わることで、図書情報館の多様なサードプレイスの利用促進の啓発にも寄与できるのではないかと思います。 ぜひ、図書情報館のボランティア活動と組織の在り方を、従来の考えに固執しないで、新しい図書情報館ボランティアのあり方をご検討いただきたいです。</p>	

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回 答
23	17ページ 2-(1)-6 地区公民館の運営 (生涯学習課)	<p>「施策の進捗度A」は評価できます。 ただ「P D C A」の各欄に記載されている内容をみると、全てが現状維持でしかありません。地区公民館が、ただ現状維持するだけであれば、市が直営で運用する意味を見出せません。安城市の地区公民館制度は、他市とは異なる安城市のユニークな地域施設であり、中学校区単位で設置されています。 一方、町内会は、伝統的な自主運営組織であるため、その規模や実力に大きな違いがあります。 「町内会」を担当するのが「市長部局の市民協働課」で、「地区公民館」を担当するのが「教育委員会の生涯学習課」であることは理解できますが、「中学校単位」で設置されている「地区公民館」が、大小様々な町内会組織の横串を刺す「ひとつづくり」を10年先を見据えて、ご検討していただきたいです。 少子高齢化が進む現状のままでは、規模の小さい町内会は、その運営が更に厳しくなっていくものと思われます。</p>	
24	20ページ 2-(2)-1 円卓会議の開催 (市民協働課)	<p>「事業内容」欄の記載内容が抽象的なため、具体的に実施されている事業が、この事業という「円卓会議」として実施されているのかが市民には理解できていないのでは、と思いますので、少なくとも、この事業の一環として開催されているのであれば、チラシなどの何処か「円卓会議」という表現を入れていただきたいです。 「施策の進捗度がB」となっているのは、そもそも「円卓会議」とは何か明確でないためではないかと思われますので、ここを明確にしたいです。</p>	
25	23ページ 2-(2)-4 町内福祉委員会 研修会の開催 (社会福祉協議会)	<p>6月14日地域見守り活動者情報交換会が開催されました。内容は町内福祉委員会全体研修に近いものでありましたが、全体研修会との関係はどうなっていますか。 地区社協や地域包括支援センターが開催する講演会・会議・勉強会等への参加依頼が多く、町内福祉委員会（民生委員を含む）での動員に掛かる負担が大きいです。関係者間の交通整理が必要ではないでしょうか。</p>	<p>町内福祉委員会全体研修会は、地区社協が見守り活動の推進指定をした町内福祉委員会に活動報告を行っていただくことで、見守り活動のさらなる進展を考える機会となるよう開催しています。 これに対して、地域見守り活動者情報交換会は、見守り活動者同士の情報交換を目的としています。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークや相互交流の場の提供を避け、町内福祉委員会が取り組まれた活動の工夫や、地域見守り活動とフレイル対策を知る機会として開催しました。 こうした講演会等の実施にあたっては、それぞれの講演会等の内容を確認し、地区社協や地域包括支援センター等の関係者間で調整が図れるように努めます。</p>

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回答
26	27ページ 3-(1)-1 健幸都市の推進 (健幸=SDGs課)	<p>「施策の進捗度」欄に「令和元年度 達成」とありますので、本計画で取り上げた事業内容は「済」という解釈でよろしいでしょうか。</p> <p>なお、「地域の社会課題を解決するために…、公民連携によるSDGsの取り組みを推進しています。」との記載がありますが、この記載内容の意味がよく理解できません。</p> <p>同一の事業内容が複数の計画、特に総合計画と重複記載されることは理解できます。</p> <p>ただ、市民にとって非常に分かりづらいのが、「協働ないしは市民協働（この使い分けも理解不能ですが、できればどちらかに統一していただきたい。）」と「公民連携」の使い分けとその取り扱う領域です。</p> <p>特に、「次期（第3次）安城市市民協働推進計画」に反映する範囲はどこなのか、当然、重複する範囲はあると思いますので、</p> <p>「①重複する範囲」と 「②市民協働・協働のみに含まれる範囲」と 「③公民連携のみに含まれる範囲」を明確に記載していただきたいです。</p> <p>個人的な見解では、 （1）定義的には全ての分野で重複する（市民協働＝公民連携）。 （2）ただし、市民協働課（内閣府）が担当する範囲が「市民協働」で、都市計画課（国土交通省）が担当する範囲が「公民連携」である、ように思われますが、安城市役所の見解をお聞かせいただきたいです。</p>	<p>まず、市民協働推進計画で取り上げた事業内容については、ご指摘のとおり「済」という解釈で問題ありません。</p> <p>次に「市民協働と公民連携の使い分けとその取り扱う領域」についてですが、本市では「協働」、「公民連携」の用語を以下のとおり定義づけております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民連携…企業をはじめとする民間事業者等と行政が連携して公共サービスの提供を行う取組（出典：安城市公民連携ガイドライン）</li> <li>・市民協働…市民、地域団体、市民活動団体、事業者及び市が地域の課題を解決するために、それぞれの特性を生かして補完し合い、協力すること（出典：安城市市民協働推進条例）</li> </ul> <p>どちらも地域の課題解決のため複数の主体が協力して取り組むという点では同じ意味ですが、「市役所等の公的機関と民間事業者等との連携」を強調する場合において「公民連携」と表現するものと認識しています。</p>
27	39ページ 4-(1)-2 町内会への加入促進 に関する啓発 (市民協働課)	<p>実績から見えてきた課題に「活動の紹介を見た人から活動に対する批判がありました。」とあります。活動紹介の内容については、相当気を遣っていますが、どういった批判があったのでしょうか。</p> <p>4年度の活動紹介では、どのように改善されたのでしょうか。</p>	<p>「町内会への加入を市が強制しているのか」、「町内会活動に参加することで得られるものを書くべきだ」といった意見がありました。</p> <p>令和4年度では、活動の紹介に加え、町内会運営に関わっている方（事務員）に取材することで、町内会運営（活動）に関わることで得られたものを、市からではなく、市民側からPRできるようにしました。</p>
28	41ページ 4-(1)-4 大型モニターなどを 活用した情報発信の 支援 (アンフォール課)	<p>個人的には、市民が手軽に広報できる優れた仕組みであると思います。</p> <p>意外にも、「施策の進捗度」欄が「B」となっており、「A 課題解決のために行う取組（改善点）」欄に「…50インチタッチパネルでも見られることをPRします。」とありますが、「B」である理由が「50インチタッチパネルでも見られることが知られていないこと」なのでしょうか、ご回答いただきたいです。</p> <p>これがBの理由であれば、個人的には「A」でも良いのではと思います。</p> <p>むしろ、以前に利用していて、最近では利用しなくなった利用者（投稿者）の立場からいえば</p> <p>（1）掲載依頼してから情報が掲載されるまでに数日から1週間以上を要すること</p> <p>（2）投稿日から掲載終了期間が短い（30日？）ため、頻繁に再掲載のために頻繁に投稿依頼しなければならなかったこと</p> <p>現状、（1）投依頼してから何日以内に掲載されますでしょうか、又（2）投稿日から最大何日掲載が可能ですか、教えていただきたいです。</p>	<p>「B」とした理由は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、50インチタッチパネルを市民の方が自発的に触る機会が減ったため、情報に触れていただく機会が減ったという状況があるからです。</p> <p>質問（1）通常2日に1回承認作業を実施しておりますが、連休などの休暇により、承認が遅れる場合がありますのでご理解下さい。</p> <p>質問（2）最大30日の掲載となっておりましたが、現在は承認後、イベント終了日または掲載終了日まで表示されます。</p>

No.	該当ページ 事業 (担当課)	質問事項等	回答
29	46ページ 4-(2)-2 市民活動や多様な主体 による協働事例の 発表会の開催 (市民協働課)	3年度もコロナ禍の中にありましたが、1月開催の市民活動補助金本審査、3月開催のオンライン成果報告会とも、発表団体の工夫が見られ、円滑に進められました。十分な活動ができなかった団体もありましたが、全体としてはレベルアップの跡が見られました。	
30	47ページ 4-(2)-3 「協働事業事例集」 の発行 (市民協働課)	「事業の実績」欄に「アンフォーレや市民交流センターのイベント時に、協働事業事例集「コネクト」を配布しました。」とありますが、具体的にどのようなイベントでどのくらいの部数を配布されたのか、記録が残っていれば教えてください。	質問No. 1の回答のとおり、アンフォーレでは配布できませんでしたので、事業の実績からアンフォーレの記載を削除します。申し訳ございません。 市民交流センターでは、未来応援プロジェクトで約10部、補助金本審査で約20部、成果報告会で約10部を配布しました。
資料3			
31	1/2ページ 5-1-1 防犯研修会の開催と 防犯抑止事業の実施 (市民安全課) 5-1-2 減災まちづくり研究会 の協働運営 (危機管理課) 5-1-7 健康に関する啓発活動 の実施 (健康推進課)	「実施」とありますように、コロナ禍での内容としては評価できます。 R4年度以降は、新型コロナウイルス感染症発生以前のレベルに早く戻って活動していただきたいです。	
32	1/2ページ 5-1-4 あんぶくまつりの開催 (障害福祉課)	コロナ禍により「未実施」はやむをえないこととは思います。 R4年度以降は、新型コロナウイルス感染症発生以前のレベルに早く戻って活動していただきたいです。	
33	1/2ページ 5-1-12 川と海のクリーン 大作戦の実施 (維持管理課) 5-1-15 安城桜井駅周辺地区の まちづくり (区画整理課)	コロナ禍により「未実施」はやむをえないこととは思います。 コロナ禍だから中止で終わりにするのではなく、コロナ禍でも実施できることを工夫して実施していただけると良かったです。 R4年度以降は新型コロナウイルス感染症発生以前のレベルに早く戻って活動いただきたいです。	
34	1/2ページ 5-1-13 自転車利用促進の取組 (都市計画課)	「実施」とありますように、コロナ禍での内容としては評価できます。 新型コロナウイルス感染症発生以前のレベルに早く戻って、市民活動団体との市民協働で活動していただきたいです。	
35	2/2ページ 5-1-16 市民出前講座の開催 (生涯学習課)	市民活動団体への依頼が活発になるよう、講座リストの冊子の配布とありますが、毎年でしょうか。今後も継続的に配布されるのでしょうか。	毎年、講座リストの冊子を配布しており、今後も継続的に配布する予定をしています。
36	2/2ページ 5-2-1 市民活動センター・ 生涯学習ボランティアセンター における相談・ コーディネート機能の充実 (市民協働課・ 生涯学習課)	「実施内容」欄に「2-(1)-2 [再掲]」とありますが、「2-(1)-4 [再掲]」ではないでしょうか、ご確認していただきたいです。	2-(1)-4 [再掲] が正しいです。 申し訳ございません。